

10/3 噴火に備えて防災意識を高める 虻田高校の1日防災学校

虻 田高校（千葉佳貴校長）で、生徒の防災意識の向上を目的に「1日防災学校」が行われました。全校生徒が有珠山噴火や津波への備えについて学びました。

午前は3年生17人が避難所の開設を想定し、段ボールベッドやパーティションの組立てを行いました。午後は北海道大学大学院の青山裕教授の講話を受けました。町民の参加もあり、参加者全員で有珠山噴火への備えについて知識を深めました。



参加者へ講話をする青山教授

9/28 洞爺湖球児が快挙を報告 洞爺湖LSが全道優勝

中 学硬式野球の洞爺湖リトルシニアが、今夏行われた全道大会で優勝し、下道町長に喜びを報告しました。

江別市などで8月に行われた第46回全道選手権大会兼第22回ゼット旗杯全道大会に出場し、並みいる強豪を打ち負かしました。

報告を受けた下道町長は「皆さんには輝かしい未来があります。連覇に向かって進んでください」と激励し、選手たちはさらなる成長を誓っていました。



下道町長に全道優勝を報告した洞爺湖リトルシニア

10/15 町からの最新情報をゲット！ スマホ教室開催

ス マートフォンの扱い方を学ぶ「スマホ教室」がアイヌ民族共生拠点施設ウトウラノで始まりました。

虻田、洞爺湖温泉、洞爺の3地区で行われ、10〜12月にかけて開催。受講者は、専門の講師の指導を受けながら基本的な使い方を習得しました。

また、町が運営するタクシーをスマホから予約する方法などについて町の担当者から説明があり、疑問点を一つずつ解消しながら操作を学びました。



スマホの操作を学ぶ受講者

10/5 生態系を守るために 外来種駆除ボランティア

洞 爺湖の弁天島、観音島で外来種の駆除ボランティアが行われました。

22人が参加し、生態系被害防止外来種に指定されるアメリカオニアザミの駆除を行いました。葉や茎に鋭いトゲがあり、繁殖力も強いため、取り逃さないよう慎重に作業を進めました。

参加者は島の本来の生態系を守るために汗を流し、駆除した量は90㍻の袋35個分に上りました。



アメリカオニアザミを駆除する参加者

10/24

噴火の脅威を学ぶ 洞爺湖温泉小が防災教室

洞爺湖温泉小学校の防災教室が、金比羅山麓火口散策路で行われました。同校は、1977年の有珠山噴火で児童1人が亡くなった10月24日を慰霊の日とし、防災教室を開いています。

全児童が参加し、火山マイスターの案内を受けながら噴火で破壊された町営浴場などの災害遺構を巡りました。児童からは「自分たちの命を守るために素早く避難できるようにしたいです」などの感想が聞かれました。



有珠山噴火の被害を学ぶ児童

10/22

子どもたちの想像力を引き出す 野生の学舎ワークショップ

洞爺湖芸術館で10月から11にかけて行われた特別展「野生の学舎いのちのかたち」の関連イベントとして、函館在住の作家B・O・T・A・Nさん、野生の学舎の主宰者新井祥也さんが、とうや小学校の児童と共同で創作に取り組みました。

作ったのは、高さ3メートル以上の「草木塔」。児童たちは提供されたナナカマドを思うままに塔に飾り付けました。完成した塔は芸術館前で展示され、多くの来館者の関心を集めました。



草木塔をナナカマドで飾った児童

11/1

洞爺湖温泉の風物詩 イルミネーション点灯式

洞爺湖温泉観光協会主催の冬の恒例イベント「イルミネーショントンネル」の点灯式がにぎわい広場で行われました。下道町長も駆け付け、カウントダウンとともに点灯しました。

トンネルは全長約70メートルで約40万個の電飾が輝きます。途中に設置されている「TOY A」の文字のモニュメントも人気の撮影スポットです。期間は来年4月27日までの、17時〜22時です(3月以降は18時から点灯)。



点灯したイルミネーショントンネル

10/31

元気よく「ハッピーハロウィン！」 桜ヶ丘の子どもたちが仮装

桜ヶ丘保育所の子どもたちが、かぼちゃの仮装をし、保育所周辺をお散歩しました。子どもたちは自分で飾り付けたバッグを持ち、お菓子がもらえるのかわくわくしながら保育所から出発。すれ違う車や町民に明るく「ハッピーハロウィン！」とあいさつしながらのぞみ団地の公園まで歩きました。

公園に着くと遊具の上に隠れていた魔女を発見。みんなで声をかけに行き、お菓子をもらうことができました。



魔女からお菓子をもらう子ども